

『建築職 パーフェクト演習講座 建築構造』(KU22475)

訂正表

2023年3月1日現在

ページ	訂正箇所	訂正内容		掲載日
P. 73	[No. 47] 肢①の解説文	誤	① × 柱のせん断破壊の防止のためには、せん断スパン比の大きい短柱とすることが効果的である。	2023/3/1
		正	① × 建物にとってせん断破壊は大変危険である。その防止のために設計では、短柱をつくらないようにしたり、帯筋やあばら筋を十分用いるなどして、せん断破壊を避けるようにする。	
P. 80	[No. 67] 肢②の解説文	誤	② × 鉄骨鉄筋コンクリート造のはりの設計用せん断力を、そのはりを構成する鉄骨部分のみで負担させる場合にも、あばら筋を省略することはできない。	2023/3/1
		正	② × 鉄骨鉄筋コンクリート造のはりの設計用せん断力は、そのはりを構成する鉄骨部分、鉄筋コンクリート部分それぞれで負担させる。累加強度式は使用できない。曲げ降伏先行とするため、鉄骨部分と鉄筋コンクリート部分が一体でないものとして、それぞれ個別の計算となる。	

※「掲載日」は、上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/info/teisei/>)に掲載された日付です。